電気設備工事　特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　令和４年度　公立大学法人　岩手県立大学　地連棟エアコン更新工事

2．工事場所　岩手県滝沢市巣子１５２－８９

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防法施行令（別表１）	耐火種別	有窓・無窓	備考
地連棟	Ｓ造ＲＣ造	2	2,175.07				2,175

4．工事種目（◉ 印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外		工事種別				備考
◉電灯設備	◉	●	●	●	●	
◉動力設備	◉	●	●	●	●	
● 電熱設備	●	●	●	●	●	
● 雷保護設備	●	●	●	●	●	
● 受変電設備	●	●	●	●	●	
● 静止形電源設備	●	●	●	●	●	
● 発電設備	●	●	●	●	●	
● 構内情報通信網設備	●	●	●	●	●	
● 構内交換設備	●	●	●	●	●	
● 情報表示設備	●	●	●	●	●	
● 映像・音響設備	●	●	●	●	●	
● 拡声設備	●	●	●	●	●	
● 誘導支援設備	●	●	●	●	●	
● 呼出設備	●	●	●	●	●	
● テレビ共同受信設備	●	●	●	●	●	
● 監視カメラ設備	●	●	●	●	●	
● 駐車場管制設備	●	●	●	●	●	
● 防犯・入退室管理設備	●	●	●	●	●	
● 火災報知設備	●	●	●	●	●	
● 外灯設備	●	●	●	●	●	
●						
● 構内配電線路	●	●	●	●	●	
● 構内通信線路	●	●	●	●	●	
● 電波障害調査	●	●	●	●	●	

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和４年版、同公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和４年版、同電気設備工事監理指針最新版及び同設備・環境課監修公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和４年版による。

2．特記仕様

1）項目番号　◉ 印のついたものを適用する。
2）特記事項　◉ 印の付いたものを適用する。
◉ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
◉印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項
◉一般共通事項	①．適用基準等	● 標準色（２．５Ｙ　８．５／◉ メーカーの標準色　● 指定色（　　） 工事写真の撮り方　建築設備編（建設大臣官房官庁営繕部監修　改訂２版）
	②．機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。
	③．機材の品質　性能証明	使用する機材が、（社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（平成２８年版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第１編第１章第４節１．４．２（ｂ）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
	④．工事実績情報の登録（工事カルテ）	◉　適用する。
	⑤．電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、当該施設の電気技術員及び当該施設を保守管理する東北電気保安協会等を補佐し、工事期間中の電気工作物の保安及び工事監理の業務を行うものとする。
	⑥．安全衛生管理	工事現場の安全衛生に関する管理は、現場代理人が責任者となり建築基準法、労働安全衛生法等の関係法令等に従ってこれを行う。
	⑦．工事用の電力・水・その他	工事用仮設電力・水等の費用、官公署等への諸手続等の費用、及び本電源受電後引渡し又は、使用開始までの電気料金は、関係各請負業者において協議の上負担すること。
	⑧．足場その他	別契約の関係請負者の定置する足場、さん橋の類は、無償で使用できる。 ただし、別契約の関係請負者の工程に著しいずれのある場合は、この限りでない。
	９．建造物の破損、修復	工事の施工により、建造物を破損し、著しくはつり、穴明け等により改造しようとする場合は、直ちに監督員に報告し、その施工方法等を記載した詳細図を提出し、監督員の承諾を得て、すみやかに修復、若しくは改造を行うと共に、当該工事前後の状況写真を提出すること。 敷地内において、障害物並びに危険物を発見した時、又は貴重品と思われる物の発掘があった場合は、監督員に報告しその指示を受ける。
	１０．発生材の処理	（１）引渡しを要するもの ※　なし　　● あり（　　） （２）特別管理産業廃棄物 ※　なし　　● あり（ ●　ＰＣＢ使用機器　　） ＰＣＢ使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 （３）上記（１）（２）以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用減量化等を図るものとし、処理方法等は監督員と協議する。 再利用・減量化等を含めた発生材の処理費用は別途とする。
	１１．建設発生土の処理	（４）産業廃棄物税について 本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場（中間処理施設経由を含む）に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 ● 建設副産物適正処理推進要綱に従い処理する。 構外搬出距離　　Ｋｍを超え　　Ｋｍ以下　（ＤＩＤ地区　● 有　● 無） （土の処分費用のみ別途とする） ● 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・住所（Ｋｍ） ※　構内指示の場所に敷きならす。 ● 構内指示の場所にたい積する。

⑫．完成時提出書類

書類名	内容	規格	部数	備考
◉完成図 図面	◉修正設計図	ＣＤ－Ｒ	◉ 2	岩手県電子納品ガイドラインによる
	◉施工図	◉ Ａ４版 ◉ ２つ折製本	● 1 ◉ 2 ● 3	関係者一覧表・製作図・機器取扱説明書・試験成績書・緊急連絡先一覧表・保証書・官庁届出書類等、産業廃棄物処理関係書類等を一括まとめ製本とする。なお、一冊の厚さは１０ｃｍ程度とし、裏表紙の前にクラフト封筒を添付
表紙	◉ 金文字入黒表紙 ● 市販ファイル			
◉写真 工事用 完成用	カラー	ＣＤ－Ｒ	◉ 2	岩手県電子納品ガイドラインによる
実施調査用	カラー	サービス版	◉ 1	撮影場所及その説明を記載する工事写真の撮り方による デジタルカメラも可とする（注） （注）ただし、仕様については監督員と協議すること
	市販工事写真帳（表紙）	Ａ４版	● 2	
◉保守管理案内書	日常保守管理案内書	Ａ４版ファイル	● 1 ◉ 2	使用者が容易に理解できるもの
◉材検収簿	主要材料	Ａ４版ファイル	◉ 1	補助監督員が認印したもの
◉原図、●隠面、●原稿	● 提出しない ◉ 提出する	● 原図 ● 隠面 ● 原稿		原図の提出は原則として、シートファイルに入れて納品する

※　その他の電子納品対象書類については、「岩手県電子納品ガイドライン」による。

⑬．完成検査時必携工具等

◉ ＋ － ドライバー　◉ プライヤー　◉ ペンチ　◉ 調性テープ
◉ アルミ製脚立　◉ 懐中電灯　◉ テスター　◉ メガー
◉ 検電器　◉ 接地抵抗計　◉ 施工図　◉ 機器製作図
◉ 照度計　● 電界強度測定器　◉ カラーテレビ

14．耐震施工

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針（建設省住宅局建築指導課監修）」による。なお、本工事の施設分類は（ ● 特定の施設　● 一般の施設）とし、設計用標準水平震度（Ｋｓ）は下表による。

設計用標準水平震度（Ｋｓ）				
設置場所	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	重要機器以外	重要機器	重要機器以外
上層階・屋上及び塔屋	2.0（2.0）	1.5（2.0）	1.5（2.0）	1.0（1.5）
中間階	1.5（1.5）	1.0（1.5）	1.0（1.5）	0.6（1.0）
１階及び地下階	1.0（1.0）	0.6（1.0）	0.6（1.0）	0.4（0.6）

（注）（　）内数値は、防震装置付き機器などの場合を示す。

重要度の高い設備機器
● 配電盤　● 発電装置　● 交換機　● ＵＰＳ　● 直流電源装置
● 増幅器（自立形）　● 受信機（自立形）　● 情報通信ラック

⑮．他工事との取合い

● 梁貫通部の補強及びスリーブ	補強	● 本工事	● 建築工事
	スリーブ	● 本工事	
● 床、壁の仮枠及び補強	仮枠	● 本工事	
	補強	● 本工事	● 建築工事
● 天井埋込形器具	墨出し	◉ 本工事	
	下地切込	◉ 本工事	● 建築工事
	仕上げ材切込	◉ 本工事	● 建築工事
	補強	◉ 本工事	● 建築工事
● 埋込形分電盤・端子盤・プルボックス	仮枠	◉ 本工事	
	補強	◉ 本工事	● 建築工事
● 換気扇	壁用換気扇	● 本工事	● 機械工事
	天井扇及び換気筒	● 本工事	● 機械工事
	空調換気扇	● 本工事	● 機械工事
	有圧換気扇	● 本工事	● 機械工事
	電源供給	● 本工事	
● 浄化槽	電源供給	● 本工事	
	制御盤	● 別途工事	
	制御盤以降の配管	● 本工事	● 機械工事
	〃　配線、結線	● 本工事	● 機械工事
● 屋外受変電設備	基礎	● 本工事	● 建築工事
● 自立形制御盤	基礎	● 本工事	● 建築工事
● 自立形アンテナ	基礎	● 本工事	● 建築工事
◉ 天井点検口		● 本工事	◉ 機械工事
● 屋内キュービクル受変電設備用消火器		● 本工事	● 支給品
● 同上消火器ボックス		● 本工事	● 支給品

16．フラッシュプレート　● 金属製（ステンレス、新金属も含む）（工場検）● 樹脂製（事務検）

17．取外し機器　工事着手前に、取外し機器が接続されている分岐回路の、絶縁抵抗を測定する。
取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ、取付ける。

18．ハンドホール　● 現場打ちハンドホール　● ブロックハンドホール
鉄蓋　● 県章マーク入り　● 電気マーク入り　●
● 重荷重型防水　● 中荷重型防水

⑲．保険　本工事の請負者は、工事期間中工事目的物及び工事資材に対して、下記により組立保険に加入し、その保険証書の写しを監督員に提出する。
加入金額　　請負金額の１００％
加入時期及び期間　　資材搬入前から工事完成３０日後まで

⑳．経年検査　● なし　◉ あり

21．施工条件　● 使用しながらの改修工事とする。

◉電灯設備

①．電気方式　幹線　単相３　線式　２００／１００　Ｖ　５０Ｈｚ
分岐　単相２　線式　１００　Ｖ
分岐　単相２　線式　２００　Ｖ

2．蛍光灯　蛍光灯器具安定器の種別及び点灯方式、力率、定格入力電圧、周波数は図示以外は下記による。

蛍光灯の種類		標準図記号
環形のランプ		ＧＬ１５
直管形のランプ	１５形以下	ＧＬ１５
	２０形　防雨形器具、防湿形器具、シーリングライト、プルスイッチ付き電池内蔵形非常用照明器具	ＧＬ１５
	２０形　上記以外のもの	ＧＨ１５
	４０形及び１１０形	ＲＨ１５
コンパクト形のランプ　Ｈ１６，２４，３２形　Ｐ３２，４５形		

③．ＬＥＤ灯
◉ ＬＥＤモジュールの寿命は４０，０００時間以上とする。
◉ 光源の設計光束維持率は０．８５以上とする。
◉ 光源色は相関色温度　４，６００～５，５００Ｋ（昼白色）とする
◉ 平均演色評価数（Ｒａ）は８０以上とする。
◉ ＬＥＤ制御装置を内臓する。
◉ 蛍光灯と互換性を有する口金を持つものは対象外とする。

④．非常用照明器具　※　電池内蔵形　● 電源別置形
5．ハイテンションアウトレット　※　飛び出し形　● 外部固定形
6．予備配管　※　鋼合金製　● アルミ製
埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器４個以下の場合（２５）を１本、５個以上の場合（２５）を２本、天井まで立上げる。

◉動力設備

①．電気方式　幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ
分岐　三相３線式　２００Ｖ

2．警報盤　※　壁掛形（電源装置　※ 内蔵　● 別置）

3．電磁開閉器用押釦（遠方操作用）　※　埋込連用形配線器具　●

④．機器への接続　電動機などへの接続は本工事とする。

⑤．電動機等の接地　図示以外は金属管接地とする。

●電熱設備

1．電気方式　幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ
分岐　単相２線式　１００Ｖ

2．施工場所及び面積　●表玄関ポーチ　約　㎡
●ＷＣ・凍結防止用

●受変電設備

1．電気方式　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ
低圧　三相３線式　２００Ｖ
低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ

2．配電盤　※ 屋内用　● 屋外用
※ キュービクル式配電盤　● 高圧スイッチギヤ

3．主遮断装置　※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　● 高圧交流遮断器（ＶＣＢ）
定格遮断電流　　ｋＡ

4．設備容量　変圧器総容量　動力用　８００ｋＶＡ　電灯用　１００ｋＶＡ

5．進相用コンデンサ　※ 低圧　● 高圧

6．自動力率制御装置　※ 無効電力検出方式　● 力率検出方式

●電力貯蔵設備

1．直流電源装置　※　非常用照明器具電源、受変電設備制御電源共用　● 受変電設備専用

2．交流無停電電源設備（ＵＰＳ）　用途（　　）
容量　　ｋＶＡ

●発電設備

1．ディーゼル発電装置　電気方式　三相３線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ
原動機　連続運転時間　時間
定格出力　ＫＷ以上　始動方式　※ 電気式　● 空気式
（　ＰＳ以上）　冷却方式　※ ラジエータ式　● 水冷循環式

2．ガスタービン発電装置　電気方式　三相３線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ
原動機
定格出力　ＫＷ以上　始動方式　※ 電気式　● 空気式
（　ＰＳ以上）

3．燃料　種類　● 軽油　● 灯油　● Ａ重油
※燃料小出槽
主貯油槽　● なし　● あり（ ● 別途　● 本工事）

④．太陽光発電装置　太陽電池アレイ公称出力１５ｋＷ以上　リチウムイオン蓄電池　１５ｋＷ以上
パワーコンディショナ　３相　３線式　定格出力１０Ｋｗ　ｘ２

●雷保護設備

1．受雷部　● 突針　● むね上導体　● 笠木（別途）など
2．避雷導線　● 引下げ導線　※ 建築構造体利用
3．接地極　※ 一接地極理設　建築構造体利用

●構内交換設備

1．電話交換機　形式 ● ボタン電話装置 ● デジタルＰＢＸ　● ＩＰＰＢＸ　● ＶｏＩＰサーバ
回線数　内線　／　回線　局線　／　回線

2．電話機への配線　電話機１台につき、下記のものを見込む
● ＥＭ－ＴＩＥＦＯ．６５－２Ｃ（ ● ２０ｍ　● ２ｍ）
● ＥＭ－ＥＢＴ　０．４－２Ｐ（ ● ２０ｍ　● ｍ）

3．ローテーションアウトレット（鼻甲形）　※ 一般電話用　個（ ● 納入する　● 取り付ける）
※ 鋼合金製　● アルミ製

4．配管　※ 本工事　● 別途工事

●通信・情報設備

1．構内情報通信網設備　種類（ ● ＣＡＴ６　● １００ＢＡＳＥ－ＴＸ　● １０００ＢＡＳＥ－Ｔ
● ＡＴＭ　●　　）

2．情報表示設備　● 情報表示盤（ ● 発光ダイオード式　● 磁気浮動式　● プラズマ式　● 液晶式）
● 親時計　回線　※ 壁掛形　● 自立形　● 複合防災盤組込
（ ● 電子式チャイム組込み　● プログラムタイマー組込み）

3．映像・音響設備　● 増幅器　１２０Ｗ
● ＶＴＲ　※ Ｓ－ＶＨＳ　● ＤＶ　●　　）
● プロジェクタ　※ 前面投写式　● 背面投写式）

4．拡声設備　● 増幅器　２４０Ｗ　※ 卓上形　● キャビネットラック形

5．誘導支援設備　● 身体障害者用インターホン
● トイレ等呼出し装置
● 音声誘導装置

6．呼出し設備　● インターホン（ ● 受付用　●　　）

●通信・情報設備

7．テレビ共同受信設備　● テレビアンテナ（ ● ＡＵ－２０　● ＢＳＡ－６０　● ＣＳＡ－　）
● 地上波アンテナマスト（※ 既設壁面取付　● 自立形）
● ＢＳ用アンテナマスト（ ● 壁面取付形　● 自立形）

8．監視カメラ設備　● 白黒方式　● カラー方式

9．防犯設備　● 設置工事（ ※ 本工事　● 別途）● 配管 ● 配線 ● 機器 ●

10．入退室管理設備　● テンキー式 ● 磁気カード式 ● ＩＣカード式　● バイオメトリクス式

●火災報知設備

1．自動火災報知装置　● 受信機　Ｐ形　１級　３０線　● 壁掛形　● 自立形
アドレス
● 単独　● 複合盤（自火報　回線　自動閉鎖　回線　ガス漏れ警報　回線）
● 副受信機　回線
● 機器収容箱　専用形（　埋込形　露出形）　屋内消火栓箱に組込み

2．非常警報装置　● 非常ベル（自動式サイレンを含む）
● 非常放送装置

3．自動閉鎖装置　● 連動制御器　回線（遠方復帰機構　回線）
● 単独（ ● 壁掛形　● 自立形）　● 火報受信機などとの複合盤
● 自動閉鎖機構
● 防火戸用（本工事、電磁式又はラッチ式、ＤＣ２４Ｖ、０．６Ａ以下）
● 防煙ダンパ用（別途、瞬時通電式又は電動式、ＤＣ２４Ｖ、０．６Ａ以下、遠方復帰機構（電動式）　ＤＣ２４Ｖ、０．７Ａ以下）
● 防火シャッタ用（別途、ＤＣ２４Ｖ、０．６Ａ以下）
● 自動開放機構　● 排煙ダンパ（別途、排煙機運転用連動機構付）

4．ガス漏れ警報装置　● 受信機　回線（ ● 都市ガス用　● 液化石油ガス用）
単独（ ● 壁掛形　● 自立形）　火報受信機などとの複合盤

●中央監視制御設備

1．監視制御対象設備　● 動力設備　● 受変電設備　● 発電設備　● 火災報知設備

2．表示操作盤　● 壁掛形　● 自立形
埋込み機器

3．監視制御装置　構成機器　● グラフィックパネル　● ミニグラフィックパネル
● プラズマディスプレイ　● 操作卓
ＣＲＴディスプレイ　◉ キャラクタ形　● グラフィック形）
● 中央処理装置　● 伝送装置未局（子局）●
● 作表用印字装置　● 雑印字装置　形

●構内配電線路

1．工事範囲　● 管路　● 配線　● 機器類

2．電気方式　● 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ
● 低圧　単相３線式　２００／１００Ｖ
● 低圧　単相２線式　１００Ｖ
● 低圧　三相３線式　２００Ｖ

3．ふ設方法　※ 地中埋設式　● 架空線式

4．柱上機器　※ 高圧負荷開閉器　※ 一般用　● 耐重塩じん用
※ 地絡継電器付き（※ 方向性　● 無方向性）
● 避雷器　※ 一般用　● 耐塩用
● 高圧ガットアウト、がいしなど　※ 一般用　● 耐塩用

5．高圧ケーブルの端末処理　屋外側　※ 一般用　● 耐塩用
※ 処理者銘板取付（屋内外共、線名、作業日、氏名を表示）

6．その他　東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。

7．外灯設備　定格電圧　２００Ｖ

●構内通信線路

1．工事範囲　● 管路　● 配線

2．用途　● 電話用　● 拡声用　● テレビ共同受信　● 火災報知用

3．ふ設方法　※ 地中埋設式　● 架空線式

●電波障害調査

1．目的　● 事前調査　● 事後調査

2．調査項目　アナログ　※ 受信レベル測定　※ 画像評価画像撮影
（各チャンネル毎）
地上波デジタル（各チャンネル毎）※ 受信レベル測定（帯域内全電力）　ＭＥＲ　変調誤差比
● コンスタレーション　※ ＢＥＲ　ビット誤り率
● ＤＵＵ　妨害波比　● スペクトラム測定
※ 画像評価画像撮影

3．調査地点　● 路上　ポイント　● 　ポイント

4．調査チャンネル数　● ＶＨＦ　チャンネル　● ＵＨＦ　チャンネル

5．提出書類　● 報告書（写真共）　部

備　「機器取付高さ」は、下記を標準とする。ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。

	機器	測点	取付高（mm）
共通	取引用計器	地上～窓中心	約１，８００
	引込線引留め高	地上～引込点	
電灯	分電盤（壁掛形）	床上～中心	１，５００（上端２，０００以下）
	スイッチ　（一般）	床上～中心	１，３００
	スイッチ　（和室）	床上～中心	１，２００
	コンセント（一般）	床上～中心	３００
	コンセント（和室）	床上～中心	２００
	コンセント（台上）	台上～下端	１００
	コンセント（ファン用）	床上～下端	ファン下端
	コンセント（厨房）	床上～中心	８００～１，０００
	コンセント（車庫）	床上～中心	１，３００
	コンセント（機械室）	床上～中心	５００～１，０００
	コンセント（屋外）	地上～中心	１，０００～１，３００
	ブラケット（一般）	床上～中心	２，１００～２，３００
	ブラケット（踊場）	床上～中心	約２，５００
	ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心	１５０
	避難口誘導灯	床上～下端	１，５００以上
	廊下通路誘導灯	床上～上端	１，０００以下
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	１，５００（上端２，０００以下）
	開閉器箱	床上～中心	１，５００
	電磁開閉器用押ボタン	床上～中心	１，３００
身障者用	呼出ボタン（便所用）	床上～中心	９００
	壁付インターホン（親機）	床上～中心	１，３００
	壁付インターホン（玄関子機）	床上～中心	１，１００
	廊下表示灯（復旧ボタン付）	床上～中心	１，３００
	「使用中」「施錠中」表示灯	床上～中心	１，５００
	スイッチ	床上～中心	１，１００

	機器	測点	取付高（mm）
電話	引込線引留め高	地上～引込点	
	集合保安器箱	天井～上端	２００
	端子盤（廊下、室内）	床上～下端	３００
	端子盤（ＥＰＳなど）	床上～中心	１，５００
	壁付アウトレット（一般）	床上～中心	３００
	壁付アウトレット（和室）	床上～中心	２００
時計	壁掛形親時計	床上～中心	１，５００（上端２，０００以下）
拡声	壁付子時計	床上～中心	２，３００
	壁付形スピーカ	床上～中心	２，３００
	壁付アッテネータ	床上～中心	１，３００
警報・表示等	表示盤	床上～中心	２，３００
	壁付発信機	床上～中心	１，３００
	ベル，ブザー，チャイム	床上～中心	２，３００
	壁付押ボタン（一般）	床上～中心	１，３００
インターテレビ	壁付インターホン（一般）	床上～中心	１，３００
	壁付アウトレット（一般）	床上～中心	３００
	壁付アウトレット（和室）	床上～中心	２００
	機器収容箱	天井～上端	２００
	直列ユニット（一般）	床上～中心	３００
	直列ユニット（和室）	床上～中心	２００
火災報知	受信機	床上～操作部	８００～１，５００
	副受信機	床上～操作部	８００～１，５００
	機器収容箱	床上～操作部	８００～１，５００
	発信機	床上～操作部	８００～１，５００
	表示灯	床上～中心	２，１００
	警報ベル	床上～中心	２，３００
	液化石油ガス用検知器	床上～上端	２５０
	都市ガス用検知器（軽質）	天井～上端	１５０
	都市ガス用検知器（重質）	床上～上端	２５０

設計番号	工事名		検図	担当	特記	図面名	縮尺	図面番号
R 4年 6月	令和４年度　公立大学法人岩手県立大学 地連棟エアコン更新工事	公立大学法人　岩手県立大学				電気設備 改修特記仕様書	N/S	E-01